

癒しの散歩道

「不思議な鏡」

鏡に映そう君の姿を 鏡に聞こう君の心を
鏡は知っているのだ 君のすべてを
悲しいときには 一緒になって涙をながし
嬉しいときには 笑って答えてくれる
寂しいときには そっと話かけてくれた
そんな鏡こそ 君の心の友に乾杯だ



谷川 萬太郎



他には誰も知らない 小部屋の片隅で
二人で語り明かした 懐かしき思い出
見つめる少女のように その優しい眼差し
今日も又あなたは 朝になく夜になく
眺めては想いに耽り 永遠の恋人のように
苦しい時悲しい時 私は貴女の心の鏡

なつやま茶論

「まじめにやれ！」

竹本 雅昭

人形：先輩、そこじゃないですよ、もう少し上の胸骨を圧迫して下さいよ。
翁： なになに、先輩とは嬉しいな、もっともっと言うてんか。
人形：何を喜んでますねん、そこやったら肋骨折れてしまうやおまへんか。
翁： 大丈夫、お前さんにはそんな骨あれへんねんやから。
人形：だって・・・今ちゃんと訓練しとかな、いざという時役立ちませんよ。
翁： そない心配やったら、あんたの妹を連れといで、ちゃんと胸骨の位置も分かりやすいし、指導員さんも褒めてくらはるわ。



人形：Hなおっちゃんやな。ほれ休んでる間はないっすよ、次の接吻ではきれいな息で頼みますよ。
翁： あゝまかしときな、今日はニンニク食べてないし、感染防止用シートを使うから安心しな。懸命に汗かいてやっとなのに、何や彼やと注文の多い急患人形や全く。
人形：やれやれ、世話のやける訓練生や。ハイ、次はAEDやけど、チャッチャッとパッド張って下さいよ。こそばしたらあきませんよ。
翁： 分かってます、簡単なこっちゃ、まかしとき。それより、電気ショックの時は思い切り跳ね上がりや、この訓練で一番面白い場面なんやから、頼むぜ。
人形：遊びと違いますよ、全く。いざ本番という時大丈夫やろか、甚だ心配なことです。

～終～

<防災センターにて>